



下関市生涯学習まちづくり出前講座

「下関へ着いた海ごみの道のり～角島周辺の漂着ごみを調べよう～」

2026.6.20 (土) 実施



6月20日(土)水産大学校の嶋田先生を講師に、「下関へ着いた海ごみの道のり～角島周辺の漂着ごみを調べよう～」を実施しました。今年度も昨年同様、嶋田先生のご指導の下、漂着ごみの調査を行っています。そのデータをもとに、角島周辺への海ごみの移動ルート、種類などを学びながら、実際に自然館近くの大浜海水浴場の海ごみ調査を予定していましたが、今年は例年以上に暑く、当日は雨が降ってお天気も悪く、外での活動を中止し、観察会の後半は、参加者交流会とペットボトルキャップを使ったキーホルダー作りを行いました。参加者の感想に、「雨が降っていたので、ごみを拾えなかったもので、また今度あれば参加したいです。キーホルダー作りが楽しかったので、家でしてみたいです。」とありました。2回目は、9月19日(土)に実施予定です。



大地の成り立ちを学ぼう！～化石・地層の観察会～

2026.7.18 (土) 実施



昨年度から始めた「大地の成り立ちを学ぼう！～化石・地層の観察会～」を7月18日(土)に福富さんを講師に実施しました。

去年の反省を踏まえ、先につのしま自然館で「豊北町特牛の化石を巡る」と題し、鍋島の化石がどのような地層に入っていて、どんな種類があるのか、今の生物とどのように違うのかなどを学びました。その後、鍋島へ移動し、化石の採取をしました。

参加者の感想に、「前々より行きたかった鍋島に来て、とても良かった。小学校に勤務しており、化石展示コーナーを作りたいと思っています。」「化石を探すのが楽しかった。」とありました。

高波の影響か、地形の変化か、予想以上に波がかかり、以前より、潮が引いても鍋島へ渡りにくくなっていましたが、二枚貝や巻貝の化石が見つかり、大人から子どもまで楽しく学ぶことができて良かったです。



微小貝探し観察会とビーチクリーン

2026.7.25 (土) 実施



7月25日(土)、豊北町自然観察指導員会の杉村さんを講師に、「微小貝探し観察会とビーチクリーン」を実施しました。

はじめに専門的な分類階級や視点を変えても自然が楽しめることなどを学びました。猛暑で、外での採取とビーチクリーンはできませんでしたが、事前に採取していた砂を3段階に篩にかけて、微小貝探しをしました。参加者の感想に、「海での活動は出来ないことを知り、初めは残念に思いましたが、室内ならではゆっくりとしっかりと貝の観察が出来て、集中して楽しい時間を過ごせました。今後の貝拾いがもっと有意義になりそうです。」「室内で観察をしたからすずしくてかいてきでできたし、外だったらこんなに集中できなかったとも思いました。」とありました。午後は、タツノオトシゴさんのワークショップも開かれました。



親子むしむし探検隊～角島浜辺の昆虫観察会～

2026.8.1 (土) 実施



8月1日(土)、やまぐち昆虫楽会の角田会長を講師に、事前抽選で当選された、親子11組が参加されて、「親子むしむし探検隊～角島浜辺の昆虫観察会～」を実施しました。

猛暑の中でしたが、最初に自然館周辺を観察し、次に砂浜に出て「ヤマトマダラバッタ(県レッドリスト準絶滅危惧種)」を観察しました。このバッタが生息している海岸は、自然度が豊かな証拠だそうです。約1時間の野外観察が終わり、自然館に戻って、クワガタのオスとメスのプレゼントがありました。参加者の感想に、「暑かったですが、子どもとゆっくり海岸を歩いて、虫を見れて良かったです。」「外来種の話は、考えさせられました。飼育の仕方を教えていただいて、良かったです。」とありました。

猛暑の中でしたが、参加者が十分満足される内容となり、とても良かったです。